

山口県看護協会通常総会の開催をお祝い申し上げます。

看護師の皆様には、私ども医師とともに、日々新型コロナウイルスと闘い、献身的なご努力を続けていただいておりますことに、感謝を申し上げます。また、1年以上も続く新型コロナとの闘いに、心身ともに疲弊をされているのではないかと気掛かりでなりません。

このため、山口県医師会では、4月8日と5月21日に記者会見を行い、新型コロナによる差別・偏見の防止や医療緊急事態宣言の発出など、県民に対して、医療現場の現状を訴えることを通じて、新型コロナ感染症に対する正しい理解と予防対策の徹底について、呼びかけてきました。

新型コロナウイルスの感染は、ワクチン接種が完了するまでの間は、今後とも波状的に拡大するものと思われまます。

感染患者への治療とともに、今、私どもに求められていることは、ワクチン接種を全力で推進していくことです。ワクチン接種を加速度的に推進していくためには、接種の担い手である医師と看護師が一体となってチームによる接種を進めていかなければなりません。今後とも、県看護協会との連携を深め、一日でも早く、接種を希望するすべての県民が接種を受けられるよう、全力で取り組んでいきますので、よろしく申し上げます。

最後に、山口県看護協会のますますのご発展を祈念いたします。

山口県医師会 会長 河村 康明